殺虫殺菌剤
オキサゾスルフィル・イソチアニル・インピルフルキサム粒剤

稲大将®箱粒剤

農林水産省登録　第24616号
（協友アグリ(株)登録）
性状：類白色細粒
毒性：普通物（毒物及び劇物に該当しないものを指していう通称）
危険物： 非該当
有効年限：5年
包装：1kg×12、10kg、((10kg×2)×2)(受注生産の担い手直送規格)

有効成分：オキサゾスルフィル・・・・・・・・2.0%
イソチアニル（化管法第1種）・・・2.0%
インピルフルキサム・・・・・・・・2.0%

殺虫剤分類　３７
殺菌剤分類　Ｐ３，７

稲大将®は協友アグリ(株)の登録商標です。

特長
○3成分で水稲の主要病害虫と細菌性病害の防除が可能です。
○新規殺虫成分オキサゾスルフィルが幅広い害虫・既存の殺虫剤に抵抗性を持つ害虫にも高い効果を示します。
○新規殺菌成分インピルフルキサムが紋枯病に高い効果を示します。
○は種時から移植当日まで使用可能です。
○本製品はWCS用イネの栽培に使用可能です。

適用病害虫名及び使用方法

作物名	適用病害虫名	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	オキサゾスルフィルを含む農薬の総使用回数	イソチアニルを含む農薬の総使用回数	インピルフルキサムを含む農薬の総使用回数
稲（箱育苗）	苗立枯細菌病 苗腐敗症 （もみ枯細菌病菌）	育苗箱（30×60×3cm、使用土壌約5ℓ）1箱当り50g	は種時（覆土前）	1回	育苗箱の上から均一に散布する。	1回	3回以内（移植時までの処理は1回以内、本田では2回以内）	1回
		高密度には種する場合は1kg/10a（育苗箱（30×60×3cm、使用土壌約5ℓ）1箱当り50～100g）	は種時（覆土前）	1回	育苗箱の上から均一に散布する。	1回	3回以内（移植時までの処理は1回以内、本田では2回以内）	1回
	いもち病 白葉枯病 内穎褐変病 穂枯れ （ごま葉枯病菌） もみ枯細菌病 紋枯病 イナゴ類 ウンカ類 イネツトムシ イネドロオイムシ イネミズゾウムシ コブノメイガ ツマグロヨコバイ ニカメイチュウ フタオビコヤガ	育苗箱（30×60×3cm、使用土壌約5ℓ）1箱当り50g	は種時（覆土前）～移植当日	1回	育苗箱の上から均一に散布する。	1回	3回以内（移植時までの処理は1回以内、本田では2回以内）	1回
		高密度には種する場合は1kg/10a（育苗箱（30×60×3cm、使用土壌約5ℓ）1箱当り50～100g）	は種時（覆土前）～移植当日	1回	育苗箱の上から均一に散布する。	1回	3回以内（移植時までの処理は1回以内、本田では2回以内）	1回
	疑似紋枯症 （褐色菌核病菌） 疑似紋枯症 （褐色紋枯病菌） 疑似紋枯症 （赤色菌核病菌） カメムシ類 イネカラバエ イネヒメハモグリバエ ケラ	育苗箱（30×60×3cm、使用土壌約 5ℓ）1箱当り50g	移植当日	1回	育苗箱の上から均一に散布する。	1回	3回以内（移植時までの処理は1回以内、本田では2回以内）	1回
		高密度には種する場合は1kg/10a（育苗箱 (30×60×3cm、使用土壌約 5ℓ）1箱当り50～100g）	移植当日	1回	育苗箱の上から均一に散布する。	1回	3回以内（移植時までの処理は1回以内、本田では2回以内）	1回

作物名	適用病害虫名	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	オキサゾスルフィルを含む農薬の総使用回数	イソチアニルを含む農薬の総使用回数	インピルフルキサムを含む農薬の総使用回数
稲	いもち病 紋枯病 イネドロオイムシ イネミズゾウムシ ニカメイチュウ フタオビコヤガ	1kg/10a	移植時	1回	側条施用	1回	3回以内 （直播でのは種時又は移植時までの処理は1回以内、本田では2回以内）	1回

使用上の注意事項

●使用量に合わせ秤量し、使いきってください。
●育苗箱の上から均一に散布し、葉に付着した薬剤を払い落とし、軽く散水して田植機にかけて移植してください。
●育苗箱（30×60×3cm、使用土壌約5ℓ）1箱当りに乾籾として200から300g程度を高密度には種する場合は、10a当りの育苗箱数に応じて、本剤の使用量が1kg/10aまでとなるよう、育苗箱1箱当りの薬量を50から100gまでの範囲で調整してください。
●側条施用する場合は、粒剤が均一に散布できる施用装置を装着した田植機を使用してください。
●本剤の使用に当っては、使用量、使用時期、使用方法などを誤らないように注意し、特に初めて使用する場合には、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることをおすすめします。

薬害
●軟弱徒長苗、むれ苗、移植適期を過ぎた苗等には薬害を生じるおそれがあるので注意してください。
●本田の整地が不均整な場合は薬害を生じやすいので、代かきはていねいに行い、移植後田面が露出しないように注意してください。
●いぐさ栽培予定の水田では使用しないでください。また、本剤を処理した稲苗を移植した水田ではいぐさを栽培しないでください。
●きく等の他作物に影響を及ぼす場合があるので、薬剤が育苗箱からこぼれ落ちないように処理してください。また、土壌全面に不透水性無孔シートを敷くなど、薬剤処理後の灌水による土壌への浸透をさけてください。
●低温での育苗条件では生育抑制を生じるおそれがあるので、温度管理に注意してください。

安全使用上の注意事項

●本剤は眼に対して刺激性があるので、眼に入った場合には直ちに水洗し、眼科医の手当を受けてください。
●使用の際は農薬用マスク、手袋、長ズボン・長袖の作業衣などを着用してください。作業後は直ちに手足、顔などを石けんでよく洗い、うがいをするとともに衣服を交換してください。
●作業時に着用していた衣服等は他のものとは分けて洗濯してください。
●かぶれやすい体質の人は取扱いに十分注意してください。

水産動植物に係る注意事項

●水産動植物（魚類）に影響を及ぼすので、本剤を使用した苗は養魚田に移植しないでください。
●水産動植物（甲殻類）に影響を及ぼすので、河川、養殖池等に流入しないよう水管理に注意してください。

保管に関する注意事項

●密封し、直射日光をさけ、食品と区別してなるべく低温で乾燥した場所に密封して保管してください。